



掲 示 板

今年も発売！「盲導犬カレンダー」2025年版

日本ライトハウス盲導犬訓練所のワンちゃん達満載のカレンダーが今年も発売。3階総務係で販売します。壁掛型(見開きA3判)、卓上型(B6判)の2種類。税込1,000円。通販ご希望の方は盲導犬訓練所(電話0721-72-0914)へどうぞ。



日本ライトハウス展の特別ステージへどうぞ

12月6日(金)・7日(土)、天満橋のOMMビル2階展示場で開催する「日本ライトハウス展～全国ロービジョンフェア2024」では、メイン会場での多種多様な用具・機器展示、サービス紹介の他、バラエティ豊かな特別ステージも行います。本誌8頁にプログラムを紹介しますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。

マルチメディアデイジー図書講演会を共催

当館はNPO法人^{ナデイ}NaDと共催で第17回マルチメディアデイジー図書講演会「デイジー教科書の有効利用につなぐ～研究報告と活用事例」を12月1日(日)13時～16時、当館4階とオンラインで開催します。デイジー教科書の継続使用の有用性についての発表と教育現場での事例報告の他、当館からサピエ図書館や視覚障害者等向けマルチメディアデイジー図書も紹介。参加費無料。オンライン参加も出来ます。参加申込は、NaDのHP(<https://www.npo-nad.org/>)から。

11月以降の休館・休室について

11月2日(土)＝製作部休室(3日祝日の振替)。
※点字製作係は開室

11月5日(火)＝エンジョイ！グッズサロンと図書貸出は休室(3日祝日の振替)。

11月14日(第2木曜)＝エンジョイ！グッズサロンと図書貸出は書庫・在庫整理日で休室。

11月23日(土)＝全館休館(祝日)。

12月6日(金)・7日(土)＝全館休館(日本ライトハウス展のため)。

当館の事業を支えるボランティア活動②「電子書籍ボランティア」 ～どんな人にも合わせられる新しい資料を作る～

当館のボランティア活動を紹介する連載企画。前号の点訳に続き、今回は8階(12月から7階へ移動予定)を拠点に活動中の電子書籍ボランティアをご紹介します。(点字製作係主任 木田陽子)

テキストデージーとマルチメディアデージーを製作

「電子書籍」というと、タブレット端末などに表示された文字を目で読む資料というイメージが強いですが、当館で製作しているのは「画面に表示される文字を合成音声で読み上げるテキストデージー(TD)」と「肉声や合成音声が流れると同時に、対応する本文や図が表示されるマルチメディアデージー(MMD)」の2種類です。

どちらも「DAISY規格」という形式に沿って見出しやページの情報を書き込むため、専用の再生機やソフトウェアを使用することで、墨字の本に近い形で利用できます。また、読み上げ箇所^{デージー}に色をつけて強調できるので、読字障害などの理由で活字を読むのが苦手な人でも、読んでいる場所を追いやすくなっています。

TD、MMDが出来上がるまで

①墨字の本を1ページずつに裁断してスキャナで読み取り、文字認識ソフトを使ってパソコンで編集できるテキストデータを作成します。

②①の時点では数字の1がアルファベットの「1」と認識されるなどの間違いが含まれていますので、手入力^{マル}で原本通りの表記に修正します。

③修正したデータを別の人が校正します。誤字があればさらに修正し、テキストデータを完成させます。(プライベート製作依頼の場合は、速く提供するためこのままお渡しし、合成音声で利用していただくこともあります。)

④TDやMMDを編集するパソコンソフトにテキストデータや画像を取り込みます。MMDの場合は、本文や図の説明を音訳者が録音した音源なども準備します。

⑤章ごと、句読点ごとに区切るなどの編集作業を行います。合成音声で読み上げさせる場合はフリガナをつけたり、アクセント(音の上がり下がり)や間の調整^マをするなどして、より自然に聞こえるようにします。

⑥最後に、完成データをサピエ図書館に登録します。同時に貸出用CDも準備しますが、サピエ図書館からインターネット経由で利用する人の方が多くなっています。

電子書籍ボランティアの立ち上げと現状

電子書籍のボランティア活動は、1999年に立ち上げられた「拡大写本」(目の見えにくい方に文字の大きさ、字体、レイアウトを工夫して作る本)の製作グループ「ズームアップ」の皆さんが、2009年頃から電子書籍の製作に携わったことから始まりました。

現在、館内では、木曜2人と土曜4人の2チームが週1回集まり、皆で楽しく作業しておられます。また、在宅で入力・編集作業をしておられる方も22人おられ、着実に電子書籍の製作を進めてくださっています。

製作作業で苦勞することとしては、「半角・全角が混在していると、利用者の方が単語検索するときに別の文字と判定され、必要な情報を見つけられないこともあるので注意が要る」、「専門書の製作依頼が増える中、数式や図、表、楽譜、パソコンで出てこない漢字などをどのようにテキスト化すれば良いか悩む」、「目と耳で複数回集中して校正しなければならないので、疲れる」といった声が聞かれました。

さらなる普及と利用拡大への期待

TDやMMDは文字を個人個人の見やすい書体や大きさに変えられるため、ロービジョン(弱視)や読字障害など多くの方が利用できる上、音声で聴くこともできるので、画面の見えない方も使うことができます。点字図書や録音図書と比べると歴史は浅いですが、利用者一人一人が自分の使いやすい方法を選べる選択肢の一つとして、今後の普及と利用の拡大が期待されています。

点字を愛し、視覚障害者やボランティアと共に30余年 点訳ボランティアの古谷豊子さんがご召天

1984年から2016年まで30年余りに亘り、点訳ボランティア、点訳講師、時には職員として当館を支えてくださった古谷豊子さんが8月18日、ご病気のため亡くなりました。明るく、柔らかいお人柄、深い思慮と機知に富んだ方で、まだ80歳という早すぎるご召天に、私たちは驚きと悲しみに包まれました。別れを惜しむ多くの方々の中から3名の方に追悼文を寄せて頂きました。

恩師であり、大先輩の古谷さんに心より感謝

点字製作係ボランティア 細見康子

古谷さんとは、2002年10月、点訳講習会の講師として初めてお会いしました。何十年振りに学ぶという緊張と無事に修了できるかという不安でいっぱいの時、優しい穏やかな声で講習が始まりました。まず、「ボランティアはしてあげるといって自己満足ではなく、ともに歩む姿勢が大切」という心構えを話されました。私は社会参加ができるという思いだけだったので、以後この言葉を心に留めています。

国語文法が苦手なうえ、PC操作も初心者で毎回四苦八苦でしたが、いつも丁寧に御指導下さり、なんとか無事に修了できました。2003年4月より活動開始後十数年、本を手にする度に出る質問にも回答いただき、時には音楽の話題で盛り上がり、お会いする度ホッとしました。

その後三重県に転居され、再会を願っていましたが、その思いも叶いませんでした。

長きに亘り励ましや御指導を頂き、今もこうして活動を続けられる事、本当に有難うございます。恩師であり、大先輩の古谷さんに心より感謝申し上げます。どうか安らかに眠り下さい。

古谷さんから頂いた大きな宝物

元・児童点字図書製作グループ 若林安也子
古谷さんとの数多くの思い出の中で、特に印象深いのが「児童点字図書製作グループ(児点図)」発足当時のことです。

朝日新聞カルチャーセンター主催の点訳講習会を本田作江先生のご指導の下、2年間受講した27人のメンバーを、情報文化センター(情文)の“児童書部門”として点訳書を提供するというお約束で、毎週水曜日午前中にお部屋をお借りし、35年という長い間、点訳活動に専念させていただきました。当時、私は何も知らなかったの

ですが、情文との交渉は古谷さんが時間をかけてして下さいました。その後、一緒に点字校正をしていた時に話して下さいました。

児点図で活動中に、古谷さんから館での活動を勧めていただき、毎週火曜日、水曜日と情文通いが始まり、たくさんのお仲間と共に活動できたことは、私の大きな宝物になっています。

この度、お嬢様から古谷さんがお亡くなりになったとのお葉書を頂きました。寂しくはなりましたが、今もあの温かで、包容力のある優しいお気持ちで私たちの活動を見守って下さっていることと信じています。私の点訳活動の心の支えとなって下さった古谷さんにお礼と感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



「点友」への感謝状

元点字製作係職員 水谷昌史

およそ40年来の「点友」でした。私が情文に在職していた1980年代、点訳の世界は大きく変わりました。「点訳のてびき」の編纂、点訳指導者講習、コンピューターの導入などです。そして情文でも、一般校の視覚障害児童・生徒の教科書点訳、各種専門点訳者の養成などに着手。古谷さんは、教科書点訳や理系点訳者養成講習の講師を務め、八面六臂の活動をされました。

古谷さんとは、点字の話はもとより、家庭、テレビ、落語など多種多様な雑談を楽しみました。その中から一つだけご披露します。

古谷さんが通っておられた教会の牧師さんの逸話ですが、この牧師は「君が代」を歌う時には「神が世」と歌詞を変えて歌うのだそうです。ク

リスチャンなら「神が世」と、マルキストなら「民が世」と歌うようなユーモアと気骨を身に着けたいものだ、と話しあったことを懐かしく思い出します。

奥の深い、幅の広い、そして気骨のある人でした。送る言葉は一つ、「シャローム」(平安あれ)。

目が見えなくてもマジックが楽しめる！

わろう座「マジックショー～嘘じゃない不思議な世界へ」ようこそ

“目が見えなければ手品は楽しめない!?” いいえ。そんなことはありません。当館では、視覚障害の方対象の多目的イベント「わろう座」の特別企画として、10月5日、「マジックショー～嘘じゃない不思議な世界へ」を開催しました。ゲストはマジシャンの**万博**さん。「目の見えない人にも手品を楽しんでもらいたい」という熱意から盲学校の講師になり、教員とマジシャンの二刀流ライフを送っている方です。世にも珍しいマジックショーの様子を、見学した職員の日でお伝えします。



マジックショーは午前と午後の2回、各1時間で、視覚障害者26名と晴眼者(ヘルパー)17名が参加。会場に4つのテーブル席を作り、各テーブルに視覚障害者3、4人と晴眼者2、3人が着席。会場全体で一緒に楽しむマジック2つと、テーブル単位で楽しむマジック1つずつの計6種類が披露されました。

全体で楽しむマジックは次の2つでした。

*数字を使ったマジック=参加者がそれぞれ1～9までの好きな数字を思い浮かべ、万博さんの誘導で、その数を割ったり足したりしていくと、何故か?最後は全員の中の数が「5」になるというマジックです。

*カードマジック=各人に「鍵」「腕時計」「財布」がイラストと点字で書かれた3枚のカードを配り、シャッフル。万博さんの誘導で上や下に入れ替えたり、持ち替えたりすると、最後は全員、利き手のカードは「鍵」、反対の手のカードは「腕時計」、ポケットにしまったカードは「財布」になっているというマジックです。

テーブルごとに行ったマジック4つの中から比較的説明しやすいものを一つご紹介します。

*視覚障害者3人で同時に体験するマジックです。同じ長さの2本の紐を束ね、真ん中で結び目を作り、結び目の周りを和紙でくるんだものを用意します。参加者の1人が、片手を掌を上にして机に置き、紐の結び目のところを持って握ります。グーの形になった手から左右に伸びている各2本の紐の内の1本を選んで、左右からグーの手の上に持っていき、そこで結びます。残りの1本を左右から引っ張ると、なんと!全部の紐が解けてしまうマジックです。



参加者は、終了後、「マジックショーなんてどんなものかと思ったけれど、想像以上に面白かった」、「とても不思議な体験をさせてもらいました。どうしてあなるの?!」と口々に洩らしながら帰って行かれました。

マジックショーを見学していた晴眼職員も、タネがサッパリ分からないながらも、目が見えなくてもマジックが楽しめる!という事実から鱗が落ちる体験でした。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2024年9月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点字製作 ♣

9月分完成点字図書

11タイトル29冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

- 大人も知らない!?スポーツの
実は…(白旗和也監修) 2冊
点:中西智子
校:G校正 河村牧子
- 家政婦の歴史(濱口桂一郎) 3冊
点:藤井恵美子
校:G校正 平野 健
- 虚無レシピ(リュウジ) 3冊
点:坂和員子
校:G校正 宗像真李子
- ネット予約時代の困ったお客の
トリセツ(飯野たから) 3冊
点:本条祐子
校:G校正 宗像真李子
- 腹黒い世界の常識(島田洋一) 3冊
点:平林隆雄
校:G校正 橋詰玲子
- ビジネスケアラー(酒井穰) 3冊
点:漕江圭子
校:栗谷博子 木村寿子
- ふれる社会学
(ケイン樹里安 他) 4冊
点:本岡直樹
校:G校正 橋詰玲子
- 星空のカラス1
(モリエサトシ) 1冊
点:南 佳奈
校:栗栖 忍
- 星空のカラス2
(モリエサトシ) 1冊
点:南 佳奈
校:栗栖 忍
- ルールはそもそもなんのために
あるのか(住吉雅美) 2冊
点:栗谷博子
校:漕江圭子 加尾美千子

歴史の現場読み歩き。

(松井宏員) 4冊
点:山根真紀子
校:G校正 篠原苑子

♠ 録音製作 ♠

9月分完成録音図書

- 14タイトル(書名、著者、録音
時間、音訳者、校正者、編集者)
- いつかはF1(中嶋悟) 5:10
音:山田喜志子
校:白石里佳 地上博子
松井喜美代
編:植田美穂子
- うちの犬が認知症になりまして
(今西乃子) 2:57
音:辻野玲子
校:米谷治子 土井賀津子
編:川端正子
- 鬼平と梅安が見た江戸の闇社会
(縄田一男監修 他) 8:56
音:宮 清子
校:山中真理子 松井喜美代
編:岸田素子
- 怪談狩り(中山市朗) 7:06
音:山口和葉
校:久保洋子 酒居よし枝
松井喜美代
編:下山とよみ
- カンニング竹山の50歳からの
ひとり趣味入門
(カンニング竹山) 3:46
音:中野靖子
校:石原英子 松井喜美代
編:山崎千代子
- 心理的安全性のつくりかた
(石井遼介) 9:47
音:川辺洋子
校:米谷治子 西田芳美
編:吉川順子

- 世界をめぐる動物園・水族館
コンサルタントの想定外な日々
(田井基文) 6:44
音:小林幸子
校:福池恵理子 松浦洋子
西田芳美
編:辻野玲子
- その選択が健康寿命を決める
(森勇磨) 4:51
音:立川有紀子 福島博子
校:西田芳美
編:辻野玲子
- 台所と食卓の名脇役
(細萱久美) 3:59
音:下山とよみ
校:稲田至功子 土井賀津子
編:植田美穂子
- 大名廃業(安藤優一郎) 7:18
音:佐藤保子
校:立上敦子 有末 道
松井喜美代
編:橋村恵子
- 2度目の会話が続きません
(野口敏) 6:54
音:右藤恵子
校:宮 清子 松井喜美代
編:川端正子
- 日本は本当に戦争に備えるの
ですか?(岡野八代 他) 5:52
音:生越恵子
校:片畑令子 松井喜美代
編:辻野玲子
- ポテトチップスと日本人
(稲田豊史) 11:19
音:足立ルリ子
校:有川美津子 松井喜美代
編:辻野玲子
- 夕霧花園
(T・トゥアンエン) 21:39
音:二宮真理
校:坪田捷子 松井喜美代
編:辻野玲子

◆ 定期刊行物 ◆

『ONE BOOK ONE LIFE』2024年10月号
発送:木下正義 中島小夜子
中島千恵 西垣泰子 山田一弘

『読書』2024年10月号
デジ版 1:18
音:寺下千秋 校:下山とよみ
発送:井川倭文子 板波キミ
並木昌子 宮崎ナオヨ 宮野興子

『アミ・ドゥ・ブライユ』第55号
点字版 1冊
点・校:安達恵美子 鴻上真理
前田朱実 山根真紀子

『JRニュース』2024年10月号
点字版 3冊
点・校:金曜日グループ

『お役立ち目録～スポーツ小説』
2024年10月号
デジ版 0:13
音:寺下千秋
校:下山とよみ

『子供の科学』2024年8月号
デジ版 3:10
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子 岸田素子 澤田美那子
冨田禮子 土井明美 宮 清子
吉田 薫

『サイエンスかわら版』2024年8月号
デジ版 3:52
音・校・編:情報文化センター
「理数チーム」
河原真知子 阪本美紀 橋本万里
畑 豊弥 濱 欣子 濱名あきよ
福島博子

『日経パソコン』2024年9月号
デジ版 3:22
音・校・編:情報文化センター
石井那智子 岡村佳子 桂 公子

片畑令子 金井典子 北川温子
木村純子 上月直子 小林幸子
小林万智子 小森佳津子 佐藤圭子
佐山敦子 下山とよみ 寺下千秋
寺田美枝子 西村郁子 二宮真理
橋本万里 畑 豊弥 平田恵美子
福島博子 前田元子 水谷和子
溝淵久美子 目連雅子 森口慶子

『英語よもやま通信』2024年10月号
デジ版 2:11
音・校・編:情報文化センター
「英語チーム」
伊東晴子 岡崎節子 川辺洋子
小林幸子 中島美穂 中原尚子
前田元子 眞津野秀子 脇本登志子

『鍼灸柔整新聞』デジ版
2024年8月25日号 1:44
2024年9月20日号 1:55
音・校・編:情報文化センター
「東洋医学チーム」
荒木良子 大坂陽子 岡村佳子
金井典子 川端砂代子 小林万智子
佐山敦子 坂本雪枝 関岡直江
羽淵雅子 前川裕子 前田元子
渡辺一枝

『週刊新潮』デジ版
◆2024年9月5日号 8:59
榎原真理 奥田和美 音無幸子
加藤洋子 河原真知子 衣田智恵美
木村加代 黒河典子 後藤泰子
正田潤子 中村千賀子 中村直美
中本和代 西田文子 野村美穂子
兵頭つね子 深津綾子 福田佳代
藤原雅子 丸岡秀子 森島美穂
編:中本和代

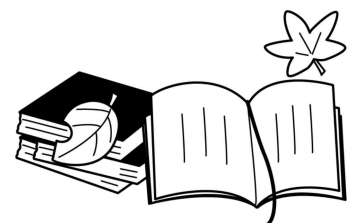
◆2024年9月12日号 9:48
青木昌美 稲田至功子 井上真子
今井文子 上原多美子 榎戸素子
大坂陽子 大橋恵子 大屋邦代
奥田かおり 小倉るり子 加藤和夫
河村喜代 小池雅子 阪本美紀
阪本由美子 佐藤公平 澤井 稔
鈴木恵子 高橋孝子 武市敦子

地上博子 寺下千秋 土井静栄
西岡千代子 西田千波 林 由子
福井栄子 松浦洋子 向高寿子
山本晴代 湯浅里美 和布浦真里子
編:西村道子

◆2024年9月19日号 9:27
荒木節子 太田貴子 越智真弓子
婦村千恵 阪本美代子 清水百世
高久俊子 寺西竹子 中岡競子
中村洋子 成田次雄 成田由起
西村道子 西山トシ子 直場徳宥
橋本明子 服部秀美 前田元子
松本昌子 山下富代 山下 豊
山田栄利子 和田文子
編:デジ版大阪

◆2024年9月26日号 10:02
有川美津子 石原晶子 大久保美弥
大島幸恵 大塚しづ子 岡崎節子
上村裕子 神谷勉子 川添美智子
川端砂代子 川本くるみ 北元直子
久下悦子 阪本美紀 佐藤公平
澤井 稔 地福延代 嶋津美香
鈴木栄二 高田雅子 武市敦子
伊達弘美 立川有紀子 玉置明美
田宮加代 坪田捷子 富田久美子
西田千波 橋村恵子 濱 洋一
濱 欣子 平田恵美子 弘津千加子
松浦洋子 水上栄子 八十嶋敦子
和布浦真里子
編:尾島和代

◆新潮音訳協力グループ
八幡市民図書館朗読ボランティア
サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
「草笛会」
グループN-BUN
デジ版大阪
栗東音訳グループたんぼぼ



♥ プライベート製作 ♥

点字図書

公式TOEIC Listening & Reading問題集9(ETS) 16冊
点・校:有光美穂 杉島貴子 前田朱実
「金平糖」第186回 短歌サロン 1冊
点:待田敏彦 校:若林安也子
電気マルチポット取扱説明書、レシピ 1冊
点:水谷和美
校:木虎真紀 永藪直子 山尾由紀
トリートメントオイルの作り方 1冊
点:永藪直子
校:安達恵美子

🍵 館内お手伝い 🍵

図書・情報サービス

板波キミ 上田敬子 片岡忠克
木村謹治 帰村千恵 京村禎子
小寺高子 田間泰子 塚本紀子
逸見恵子 待田敏彦 森本益子
渡邊洋子
[茨木市バラの会]
高見澤央子 宮 諭日

整理・情報サービス

板波キミ 鱗星千恵子
逸見恵子 渡邊洋子

電子書籍

池尻三千子 木原富子 佐藤久子
千徳節子 西村佐世子 新田 優

◆9月の貸出実績
点字 145tl DAISY 2451tl
テープ 3tl

館内作業

江島理枝 佐野真理

🍷 対面リーディング 🍷

池本滋子 大坂陽子 大西順子
奥 幸子 鎌田 潤 河上千鶴
小林万智子 嶋津豊子 鈴木栄二
田那辺優子 千原加容子 中本由美
野口令子 藤田和紀子 藤本郁子
寶田サチエ 増尾明子 松原和子
三好充子 向井民子 脇野由起子
9月 利用者8人・22件

『対面リーディング通信』編集
伊東晴子 大村登子 木村謹治
澤井 稔 細井昌子

★ 電子書籍 ★

◆プライベート製作

大阪教区社会委員会主催講演会
池尻三千子 西村佐世子
平林隆雄
菅野須賀子を顕彰し名誉回復を
求める会 第41号
北川かほる

◆テキストDAISY図書

MONTHLY “日本一”明るい
経済新聞9月号
テキスト化・DAISY編集:
森 美恵子
産経新聞 産経抄
2024年9月1日～9月15日
テキスト化:池尻三千子
佐藤久子 千徳節子
西村佐世子
産経新聞 産経抄
2024年9月16日～9月30日
テキスト化:池尻三千子
木原富子 西村佐世子
新田 優

☒ パソコンサポート ☒
(ボイスネット)

[9月実績]
来館:石川昌宏 斧田綱子
木村朱美
週報:石川昌宏
HP:中条正信

《一ツ橋総合財団助成事業》
アクセシブルな電子書籍、
シネマ・デイジー等、当館の
先端的なメディアは公益財団
法人一ツ橋総合財団のご助成
により製作されています。

* ご 寄 附 *

日本基督教団北白川教会
湯川欣晃 5件
(敬称略をご容赦下さい)

音声版「選挙のお知らせ」

10月に行われた衆議院議員
選挙で、15名の方々に「選挙
公報」の音訳・校正・録音作業に
当たっていただきました。短時
日での誤りの許されない集中
的な作業にご尽力いただいた
ことに厚く御礼申しあげます。

* 比例区=1ブロックのマスター
データ製作
* 小選挙区=4県36ブロックの
マスターデータ製作
(*職員によるCDコピー
合計 2,419部)

岩田真智子 大坂陽子 金井典子
木村純子 久保洋子 小林幸子
白石里佳 寺下千秋 寺田美枝子
福池恵理子 福島博子 外園朝代
前川祐子 前田元子 目連雅子

日ラ展特別ステージのプログラム(1頁から続く)

◆12月6日(金)=①13:00~13:45「マジックショー&触るマジック体験」(今注目のマジシャン万博さん出演)、②14:30~15:15「いつも近くにiPhone☆楽しさと便利さを手のひらに！」(当館職員出演)

◆12月7日(土)=①11:30~12:15「デイジー図書って何が聴けるん?小説だけじゃない!耳で楽しむ録音図書~聴き方いろいろ」(当館職員出演)、②13:00~13:45「パラスポーツの魅力」(パリ・パラリンピック柔道金メダリスト瀬戸勇次郎氏出演)、③14:30~15:15「すごいぞiPhone!まだまだ進化は止まらない!」(当館職員出演)

◆あん摩・マッサージ体験コーナー=6日(金)11:30~16:00(受付11:00~、大阪南視覚支援学校)、7日(土)10:30~16:00(受付10:00~、大阪北視覚支援学校) お一人約10分。

金井典子さんと福島博子さんが朗読録音全国表彰

公益財団法人鉄道弘済会の第54回朗読録音奉仕者感謝の集いが9月27日、東京で行われ、当館ボランティアの金井典子さんが全国表彰を、福島博子さんが文部科学大臣賞を受賞されました。金井さんは活動歴31年。専門音訳・東洋医学チームと理数チームに所属し、質の高い音訳で296タイトル2,148時間を録音した実績が評価されました。また、文部科学大臣賞は、全国表彰の受賞者で専門書の音訳に活躍された方に贈られるもので、福島さんは32年にわたり、図表の多い学術書や子供向けの科学の本など166タイトル1,089時間を製作した功績が評価されました。



左から福島さん、金井さんとご友人の宮崎さん、福島さんのお嬢さん、久保田館長の順

続いて、鉄道弘済会西日本地区の朗読録音奉仕奨励賞の贈呈式が10月1日、当館で行われ、当館から有川美津子さん、片畑令子さん、澤田由紀さん、嶋津美香さん、和田ゆう子さんの5名が受賞されました。奨励賞は録音時間50時間以上で、積極的に音訳活動に取り組んでいる方が対象です。

皆さまのご受賞をお祝いするとともに、今後も音訳技術の継承と、質の高い録音図書の製作にお力を発揮してくださるようお願いいたします。

当館サービス部に原理子職員を採用

当館サービス機器・用具係では10月16日付でICTサポート担当として原理子を採用しました。岐阜県出身の20代の女性です。6月に点字製作係で採用した川嶋健太と共に、すれ違っても顔が見えませんが、館内で出会われた時はぜひお名前を名乗って、ご挨拶ください。

あゆみ

【10月】

- 2日 見学:豊橋市社会福祉協議会(9人)
- 5日 わろう座マジックショー(万博さん出演)
- 10日~11日 全国視覚障害者情報提供施設大会(福岡県、久保田・松本・伊藤信乃・内藤)
- 19日 オープンデー(館内見学日、9人)
- 26日 第41回岩橋武夫賞贈呈式・記念講演会(堀内佳美氏:アークどこでも本読み隊代表)
- 30日 見学:歩行訓練士養成課程受講生他(3人)

予定

【11月】

- 2日 製作部休室(3日祝日の振替)
- 5日 サービス部休室(3日祝日の振替)
- 9日 オープンデー(館内見学日、要予約)
- 14日 サービス部休室(在庫・書庫整理日)
- 16日 ボランティア世話人会
V友の会施設見学会(あべのタスカル)
- 23日 全館休館(祝日)

編集 毎年短い秋がもう終わるのでファースト後記 フード店にて「月見」と名の付く季節限定のメニューを食べました。メインのはずの卵よりも一緒に挟まっていたソーセージが美味しく印象に残り「花より団子」ならぬ「月よりお肉」になってしまいました。(徳)

ワンブックワンライフ
ONE BOOK ONE LIFE 2024年11月号

発行 社会福祉法人日本ライトハウス
情報文化センター(館長 久保田 文)
住所 大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0095
E-mail info@iccb.jp

表紙絵 かたおか朋子
発行日 2024年11月1日
定価 1部100円 年間購読料1,000円